

2018年9月11日

未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で承認された治療法

当院の未承認新規医薬品・医療機器評価委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	突発性難聴・難聴に対するステロイド鼓室内投与
実施責任者	三重大学医学部附属病院 病院長 伊藤 正明
対象者	当院で治療を受ける突発性難聴患者で、医師がステロイド鼓室内投与を必要と判断した患者
承認日	2018.9.11
対象期間	5年間
概要	【目的・意義】 突発性難聴に対する初期治療としては、ステロイドの全身投与が広く用いられています。しかし、糖尿病、高血圧、妊娠している場合などステロイド全身投与による副作用などの不利益の方が大きいことが危惧される場合には、初期治療からステロイド鼓室内投与が考慮されます。また、初期治療としてステロイド全身投与を行っても聴力が改善しない場合に、救済治療としてステロイド鼓室内投与を行うことが推奨されます。ステロイド鼓室内投与ではデキサメタゾン注射液を使用します。本薬剤の添付文書では、中耳炎等に対する鼓室内投与は認められていますが、突発性難聴に対する鼓室内投与は認められていません。しかし、鼓室内投与自体は禁忌事項ではありませんので、医師が必要と判断した場合に限り、その使用を認めます。 【想定される不利益と対策】 鼓膜穿孔、めまい、感染などが起こりえます。鼓膜穿孔が閉鎖しない場合には、穿孔の大きさ及び状態に応じて、鼓膜穿孔閉鎖を考慮します。
お問い合わせ先	三重大学医学部附属病院 総務課 総務係 代表 059-232-1111 (内線 6293)

以上